



2007年度における分野横断的演習について(案)

2007年 12月 3日

内閣官房 情報セキュリティセンター (NISC)

(1) 演習の目的

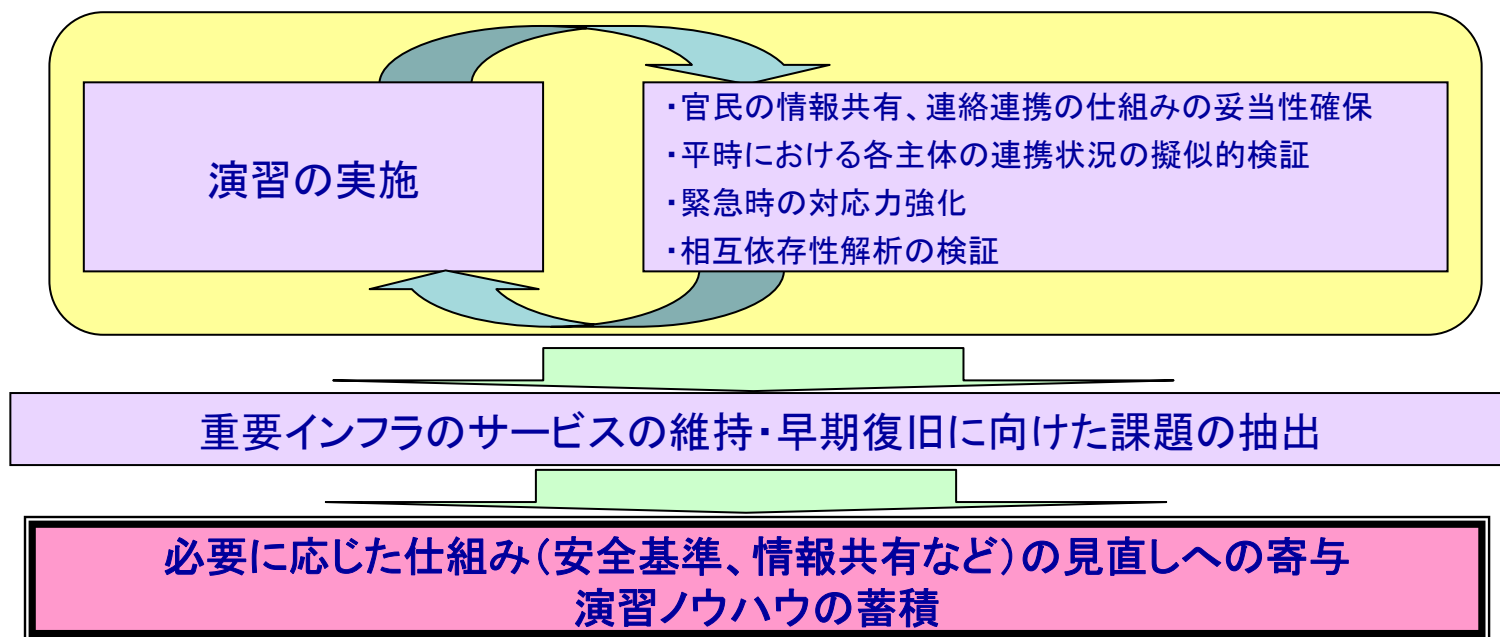
IT障害発生時の重要インフラのサービスの維持・早期復旧に向けた課題の抽出

(2) 位置づけ

2006年: 分野横断的演習の初年度として、机上演習を実施

2007年: 机上演習及び静的相互依存性解析の結果等を踏まえ、重要インフラのサービスの維持・早期復旧に向けた現状の情報共有の仕組みを検証する機能演習を実施

2008年: 2007年度機能演習の結果等を踏まえ、演習形態の見直しを行うとともに、状況に応じて検証範囲等を設定し、演習を実施



1. 日時 2008年2月6日(水)(予定)

2. 参加者(予定)

(政府)

内閣官房情報セキュリティセンター、重要インフラ所管省庁

(重要インフラ分野)

情報通信、金融、航空、鉄道、電力、ガス、政府・行政サービス、医療、水道、物流

(CEPTOAR)

(関係機関)

(分野横断的演習検討会有識者)

大林慶應義塾大学教授(座長)ほか、検討会有識者

3. 概要

官民の連絡・連携体制の機能と、IT障害発生時の対応能力の向上等を図るため、重要インフラ所管省庁、各重要インフラ事業者等及び各重要インフラ分野のCEPTOAR等の協力を得て、相互依存性解析の知見を踏まえつつ、想定される具体的な脅威シナリオの類型をもとにテーマを設定し、分野横断的な機能演習を実施する。

機能演習は、各ステージにおいて、以下のように進行する。

- 1) 大部屋にて、ファシリテータは、プレイヤにシナリオに記述された状況設定を提示する
- 2) 各部屋にて、プレイヤは分野毎または事業者毎に対応を検討する
- 3) 各部屋にて、プレイヤは必要に応じて、他のプレイヤへ情報連絡、情報提供を行う
- 4) 大部屋にてファシリテータは、質問を行う
- 5) 参加者が適宜回答する
- 6) 参加者間での質疑応答を行う

機能演習の進行イメージ

